

## 2022年度 聖隷こども園桜ヶ丘 自己評価結果

### 【聖隷こども園桜ヶ丘 教育・保育理念】

キリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法・児童憲章に則り、健康で安全・安心な乳幼児の保育・教育を目指します。

- \*愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- \*一人ひとりの違いに気づき、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- \*自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- \*在園・地域の子育て家庭が心豊かな環境で子育てができるように支援する。

### 【園目標】

- ・子どもたち一人ひとりが愛され、受け入れられて、愛することを知る
- ・遊びや体験を通して心身を育て、子どもたち一人ひとりの個性をのばしていく

### 【2022年度の重点目標】

- ・子どもの最善の利益を考え、施設理念や保育目標を理解し「一人ひとりを大切にす  
る教育・保育」を実践する。
- ・乳児クラスで「ゆるやかな育児担当制保育」を取り入れ一人ひとりの生活の流れが  
安定し見通しが持てるように援助し子どもが主体的に生活を送れるようにしていく。
- ・「保育について語り合う風土」を生かしお互い意見が言い合える環境を整える。

### 『人権擁護のためのセルフチェックリスト～子どもを尊重する保育より』

評価項目別の達成および課題状況項目	自己評価・課題
(1) 子ども一人ひとりの人格を尊重しない 関わり	・できるだけ子どもが自ら行動できる言葉 がけをしている。 ・受け入れ時や降園時には、子ども・保護 者に寄り添った関わりを心がけている。 ・一人ひとりの子どもの発達を踏まえ個人 差を配慮した適切な保育をしていくことが 大切だと感じている職員が多い。
(2) 物事を強要するようなかかわり・脅迫 的な言葉がけ	・言葉のかけ方、トーンなど子どもが安心 して過ごせるような声掛けを心がけてい る。 ・「靴を履いたら遊べるよ」等ポジティブ

<p>(3)罰を与える・乱暴なかかわり</p> <p>(4)一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮した関わり</p> <p>(5)差別的なかかわり</p>	<p>な言葉がけをしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自分自身で考え行動する力を育むことが出来るように、肯定的な言葉がけを意識していく。</li> <li>・乱暴な言葉、関わり、態度は身体的、精神的に苦痛を与えてしまう。保育者自身がゆとりをもって過ごす為にも、職員間の連携（環境）も大切である。</li> <li>・子どもは自分よりも大きい大人に頭を触れられた時（手を置かれた時）少しびっくりするのではないかと考えるきっかけとなった。そのようなつもりではなかったことも子どもの立場からはどうだろう…と考えて行動していく。</li> <li>・子どもが見通しをもって行動できるように具体的でわかりやすい言葉がけをしていく。</li> <li>・日頃から保護者とコミュニケーションを取って少しの変化にも気づけるように心がけている。</li> <li>・それぞれの家庭環境を考慮し、保護者の思いを受け止めて配慮や援助を行い、お互いを尊重し合える関係を築いていく。</li> <li>・今年度の研究（SDGs と保育）にてジェンダーレスや平等について子どもたちに話をして伝え職員で取り組んでいる。子どもたちが安心して過ごせる環境を整えていく。</li> </ul>
<p>総評</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックリストの目的である「子どもを尊重する」「子どもの人権擁護」について、改めて意識を高め自らの保育を振り返るきっかけとなった。</li> <li>・何事においても「チーム力」「同僚性」が大事であると再確認した。「これはどうか？」と思う関わりを言い合える関係性は日頃から意識していきたい。誰もが自分の意見を言い合える話し合いの場も定期的に作っていく。</li> <li>・自己評価の結果から見えてきた園としての課題を職員間で共有し、教育・保育の向上の為に次年度につなげていきたいと思う。</li> </ul>	